

爺爺バックパッカー節約旅行記

「タイ」ってこんな国だった！！



旅人 福井伸人



はじめに

コロナの自粛生活から解き放たれての憂さ晴らし旅・・・

コロナ禍で海外渡航の出入国の条件がほぼ全面撤廃を期にタイ旅行実行に移す。
パスポートの記録では2019年2月が最終入国日でほぼ4年ぶりの海外旅行。

基本はバックパックスの節約旅

航空券の購入に始まり、観光コースの下調べ、お金の用意、スマホに翻訳ソフト、
SIMカードをどうするか検討と行き当たりばったりの旅始まる

バンコクはバックパッカーの聖地と言われるカオサン地区に宿泊

バンコク都内は路線バスの赤バス8～20バーツ中心　バス路線ソフト　ダウン
ロード　他運河ボート、鉄道、地下鉄活用

VIA BUSのソフトは大変よくできている GPSと連動、全てのバス停の記載

VIABUSを使いこなせばバンコク都内何処でも安く移動ができる勿論GPS機能も備わる優れたもの



成田ーバンコク(スワンナプーム国際空港)



1月21日(土)何の健康チェックも無くあっさり、無事入国

帰国のほうがワクチン接種証明だのウェブ調査が行われた

入国後下調べの通り空港でSIMカード購入しスマホのセッティングとタイバーツへ両替 1万円が2520バーツと円安の影響もろに受ける、円高のときは3000バーツ程度だったと思う SIMカードは30日間(890バーツ)

次にバスでカオサンに向かうこれも下調べ通り路線バスS-1バス、60バーツと安上がり

1 タイ王国とは



私は9年前にも訪れているが様子が全く違う、バンコクだけを見ると東京以上の発展をしているかもしれない

都市のインフラ整備、特に地下鉄・BTSの高架鉄道、更にBRT（都市型高速バス）の延伸が目覚しい

其中でも昔ながらの赤バスは一律8バーツ（約32円）とバックパッカーにはありがたいそれでも昨年からは赤バスも6バーツから8バーツに値上げ

大型商業施設がバンコク都内に何箇所も世界各国のありとあらゆるブランドショップがあふれ、高層ビル群の建築ラッシュ
チャオプラヤーのリバーフロントの再開発

① 仏教国、国民の95%仏教徒 僧侶は敬われる

僧侶席は誰が座っても良いが、僧侶には席を譲りなさいということ
公共の乗り物には僧侶への配慮が必要でした。



路線バスの一番前
の席僧侶席



空港待合室にも僧侶専用があ
る



ワイ・合掌(手を合
わせたの挨拶)タイ国
民の穏やかさである



朝の托鉢はどこでも見られる

② タイ王室 日本の皇室とはまったく違う

国王殿下の影響力和馴染み深さが浸透

国歌の放送毎日8:00と18:00に列車の待合室、バスターミナル・TVなど直立にて敬意を払ってる。一瞬何が起きたか……私も敬意を表して直立街のあちらこちらに国王夫妻の写真、看板 国中のお寺にも国王夫妻



③アルコール販売制限、タバコ販売制限

アルコール類販売時間11:00～pm14:00,
17:00～24:00(飲食店は例外朝飲み対応)



タバコ銘柄見せての販売禁止



④ 乾燥大麻真っ盛り・誰でも買える

乾燥大麻は街にあふれている 価格10グラム150バーツ
大麻喫煙者は欧米人に多いかも欧米人の観光客が多い
一応メディカル・20歳以上と書いてある



⑤ コロナ対応 マスク着用率



守り神ヤックもマスク。

入国制限完全撤廃はしたけれど国民のマスク着用率
ほぼ100%

路線バス・列車・地下鉄・密集地

欧米人はマスク着用は5%程度 タイの国民性は良く
分かる

私もマスク持参タイ国民に倣ってマスク着用、
バスでは鼻が出ていると車掌さんに注意された事も

⑥自動車普及率

タイの1000人当たり234台と中国117台と倍の数字を示している(日本492台)
余りに「いすゞ」のピックアップトラックの多さにビックリ、街歩きの最中違和感を感じた自動車
部品店看板(順番が違う?...)トヨタの次にいすゞとは?確かにアッチコッチにいすゞ車...
私, 団塊の世代はいすゞと言えばベレット1600GT、117クーペと一世を風靡した憧れの名車
種であり日本ではいすゞの乗用車廃れ消えてしまっていたが、タイでは脈々と生きていて懐
かしさを感じ、トヨタに次ぎ2位、3位以下を大きく引き離していた。



⑦ フランチャイズ

Café Amazon

タイ発祥のカフェアマゾンタイ国内に3500店舗以上タイでのスタバ的存在
価格もスタバの半額程度、日本にも上陸済みの様子



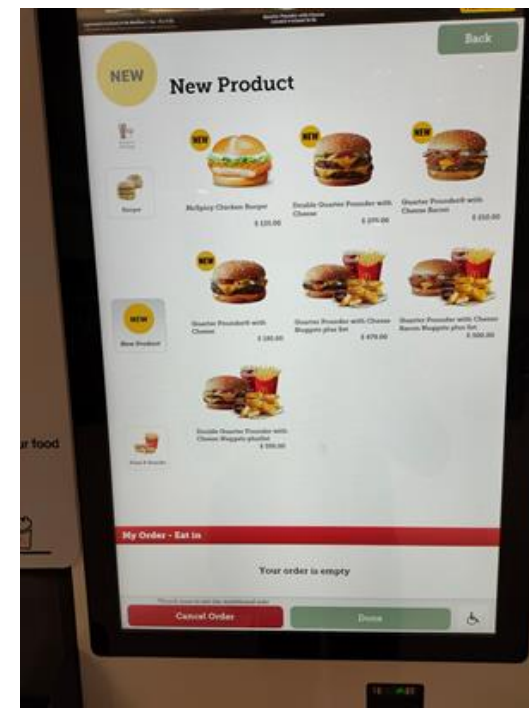
セブンイレブン

タイ国内に約10,000店舗世界2位 日本は約20,000店舗世界1位
津々浦々にセブンイレブン、コンビニ文化が根付いている。



外食チェーン店

マクドナルド・ケンタッキーフライドチキン・スターバックスは全国規模での出店
アメリカ資本の御三家タイ国内を席卷
私は一度も食していないけど高い価格である。



タイ国内旅行あちこち



旅① カンチャナブリーとサンクラブリーへの旅

カンチャナブリーへはバンコク、トンブリー駅より2時間半第二次世界大戦のクワイ川鉄橋の建設に大きな犠牲者を出し映画の「戦場に掛ける橋」、クワイ川マーチ、泰緬鉄道、ウィリアムホールデン、早川雪舟で有名舞台
今も大勢の欧米人が訪れている所橋の近くには慰霊碑、欧米戦死者墓地などがある



日本軍による慰霊碑、戦時中に建立されていた

旅② サンクラブリー

カンチャナブリーから更に250kmバスで5時間半のところミャンマーとの国境の町、サンクラブリーを目指した。ここにはモン族の橋モンブリッジがあり、大変趣のあるタイで一番長い木造橋、世界で2番目と言われている？私は橋が大好き人間、遠距離をいとわず出かけた。実は世界一長い木造の橋は静岡県島田市の大井川にかかる蓬莱橋がギネスで認められている最長木造橋もう一つミャンマーのマンダレーにウーベイン橋がある。これも趣きがある1.2kmの木造橋であり何故世界一ではないのか不明である



旅③ ワット・プラタート パーソンケーオ 衝撃的な大仏

アントニオガウディを髣髴とさせるお寺。初めてこの大仏の画像を見たときどうしても行って見たいと思ったお寺。 バンコクから400kmあまり、山の中お寺、車を運転できる人はさほど訪問には難しくないがバックパッカーはバスを乗り継ぎバスを降りて2kmの徒歩 バス停も分からず乗り継ぎのバスターミナルで写真を見せ バスの運転手にも写真を見せ身振り手振りで近くで降ろしてくれとお願い。

このバスは1日4往復しかないため行きは朝一番のバスの時間は分かるが帰りは上手くバスに乗れるか1本逃すと3~4時間？待ちぼうけ、ヒッチハイクも覚悟1泊2日の行程である。

前日のペッチャブーンでのバスターミナルの下調べそうして近くのホテルに宿をとる朝一番のバスに揺られる事1時間。バスを降りて歩く事30分、田舎の山道の遠くに見える景色も素晴らしい。





お寺と周りの景色満喫して無事山中のワットプラタートパーソンケーオを後にして山道を下り国道へバスを降りた付近でバス待つ事にしていると、オートバイに乗ったお兄さんが乗っけてあげると言ってきた
少し躊躇するもバスを3時間？待つ事を考えても危険が伴うけど近くのバスターミナルまでお願いしたしだいです。

旅③ ターレ・ブアデー 蓮の湖へ



ここはラオスとの国境に近いウドンターニ

ワットプラタートパーソンケーオの最寄のバスターミナル、ラムソックからルーイ経由でバスを乗り継ぎウドンターニへ350km次なる目的地ウドンターニから蓮の湖へは40km下調べではホテルなどでターレブアデー(蓮の湖)へは現地ツアーが有るような、もしくはタクシー、トクトククのチャーターしかない様な事であった。宿の人に聞いたり情報収集するもコロナ禍でのツアーは催行されて無い様子バスターミナルでの聞き込みもチャーターは1000バーツが相場のような蓮の花の見ごろは夜明けとともに11時ごろまでらしい、バックパッカーには1000バーツ更にボートもチャーターするとなるとそれなりの出費は覚悟であるが、列車で最寄り駅まで行ってのバイクかトクトククを試みる事にした。

翌朝一番列車5時55分発でクワンパワピー列車で30分。そこで降りたのは私一人、恐る恐る駅舎を出るとツクツクが2台ターレブアデー蓮の湖への価格交渉400バーツで纏まりいざ湖へ！！この地域の朝トクトククの風を切るのは薄いダウンジャケットでも寒いくらい約30分後に人気の無いボート小屋、観光客はいないボート関係者のみここのボートは価格交渉なし、チケットが印刷されている有無も言わず500バーツを支払いボートが出航 大きな湖15分くらい走ってもそれらしい花は見当たらず船頭に本当に花は咲いてるの？船頭は大丈夫の表情、花の見ごろは11月から2月初旬もう終わってしまったのではないかと思っっている矢先にぽつぽつと花が見えはじめるや否や一面ピンクの蓮の花素晴らしい光景がひろがり1時間のクルーズを満喫。ホントきたかいがあったひと時でした

旅④ ナコーンパトム(バンコク郊外)

仏教国の起源とも言われる穏やかな街 バンコクのトンブリー駅から1時間列車のたびここには世界一の仏塔プラ・パトム・チェディーが駅前にそびえたっている信仰心の強い老若男女がひっきりなしにお参りしている。高さ120m世界で一番高い仏塔といわれている。



旅⑤ JESADA TECHNIK MUSEUMとタイ国内の乗り物も色々

ナコンパトムから列車で20分訪問のところにジェサダ テクニカ ミュージアムがある。乗り物好きにはたまらない博物館。インターネットではTemporarily closedとあり臨時休業の記述、自分が行くころには大丈夫だろうと？勝手に解釈あいていればラッキーと思って訪問でした。個人での陸 海 空の乗り物を集めたクラシックの博物館 更に無料であることも凄い事。列車を降りて2 kmくらいのところにあり、歩いた結果休業。残念だった。





庶民の足バンコク赤バス一律8バーツ



トゥクトゥク



747Cafeで一休み・操縦席にも座れる・乗り物好きにはたまらない



100年の歴史ヨーロッパの香りファランポーン駅役割変更
バンズー中央駅を新築開業。

タイ国鉄ディーゼルカー



3等客室

メークロン市場

旅⑥ 仏教国の異色なお寺色々

ワット パイロン ウア・地獄寺



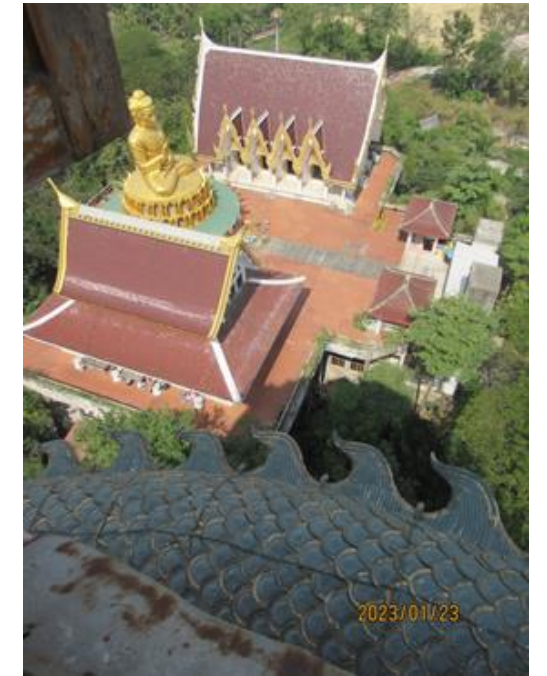
遊園地風お寺 ワット・サマーン・ラッターラーム

ゆるキャラがおおく、神様にもあまりこだわりが無いの？・・・ヒンズーと仏教が同居



竜が巻きついたお寺 ワット・サームプラン・ナコムパトム

地上より竜を回廊で16th heavenまで上がる
Immortal Eenal loveとある



インスタ映えすると観光客に人気のお寺 ワット・パークナム



超巨大瞑想修行寺院

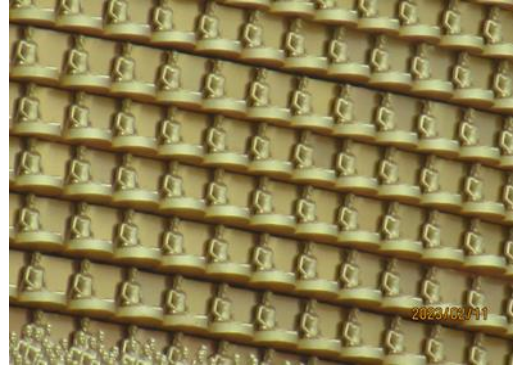
ワット・プラタンマカーイ

不気味な怪しいお寺なのか・・・、随分昔ににノンフィクションドキュメンタリーで見た記憶が有り野次馬的ではあるが実物を見てみたいとの思いで訪問

この宗教施設は大仏塔、偉大なマスター記念館、巨大な瞑想スタジアムが主な建物であった。

メモリアル ホールの看板には毎週(日曜)11:00~12:30セレモニーが行わる、グレートマスターの純金像が安置されており、其の像に敬意を払い白装束であれば何人もセレモニー参加を大歓迎すると記されていた。この想像を絶する規模、信徒、お金は何処から来るのか謎だらけ・・・私が訪問した日はこの巨大な施設に数名の白装束の信徒が瞑想にふけていただけ。何か不気味さも感じながら広い施設を歩き廻ったがこの異邦人に話しかけるものなど一人もいなかった。





このお寺はバンコク郊外路線バスで1時間半、バス降りて3km程度、炎天下、歩くがの少々きつくバイクに画像を見せ乗せてもらう当然受付あたりで入場許可か見学申し込みをするつもりであったがバイク運ちゃん構わずどんどん奥へ一般道みたいな道路を進む

止まった所が大仏塔前、ほぼ無人唯一掃除の人、巨大な広さをバイクのリヤカーにモップを取り付け周回をモップ掛けで走り回っていた。とにかく広い、広すぎる瞑想スタジアムでは白装束で数名瞑想にふけっっている他は人とすれ違うことも無く、ほぼ私一人何か、拉致でもされたらと不気味な感じであった。帰り道はバス停までかなりの距離があった。

こんなもの食べた編

一人旅の食事は、お気楽にほぼ大衆食堂 たいしたもの食べてもいない、年寄りの胃袋は小さくビールだけは必須。 まあ、粗食で画像にも残していなかった…… セブンイレブンの、バナナと弁当とビールにはお世話になった。



オープンエアな大衆食堂

便利な朝食早い安い旨い
一人旅に一房は多すぎる



定番の洋食の朝食



パパイヤサラダ



マンゴーともち米ご飯に甘い
ココナツミルクデザートのように



弁当



カオパット(炒飯)



タイ焼そばパットタイ



カオマンカイ(蒸し鶏のつけご飯)



音叉マークのヤマハを見かけるとついパチリです。
タイでもヤマハの頑張りですね。

最後までご覧いただき有難うございました